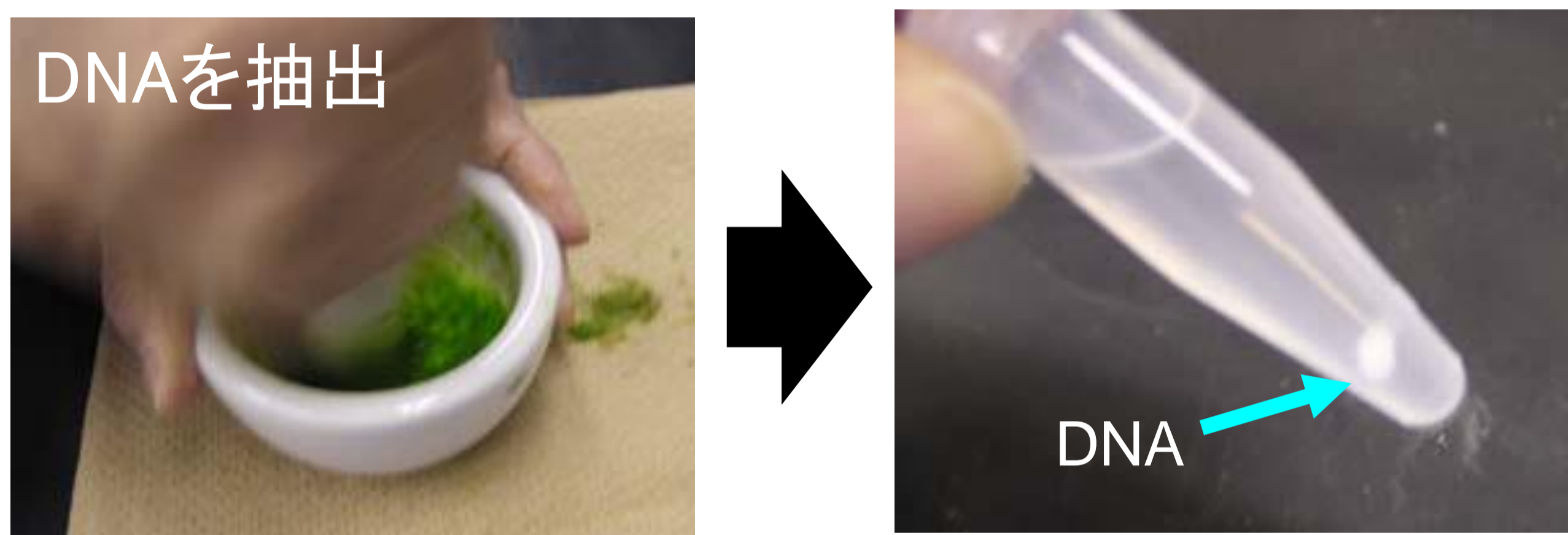


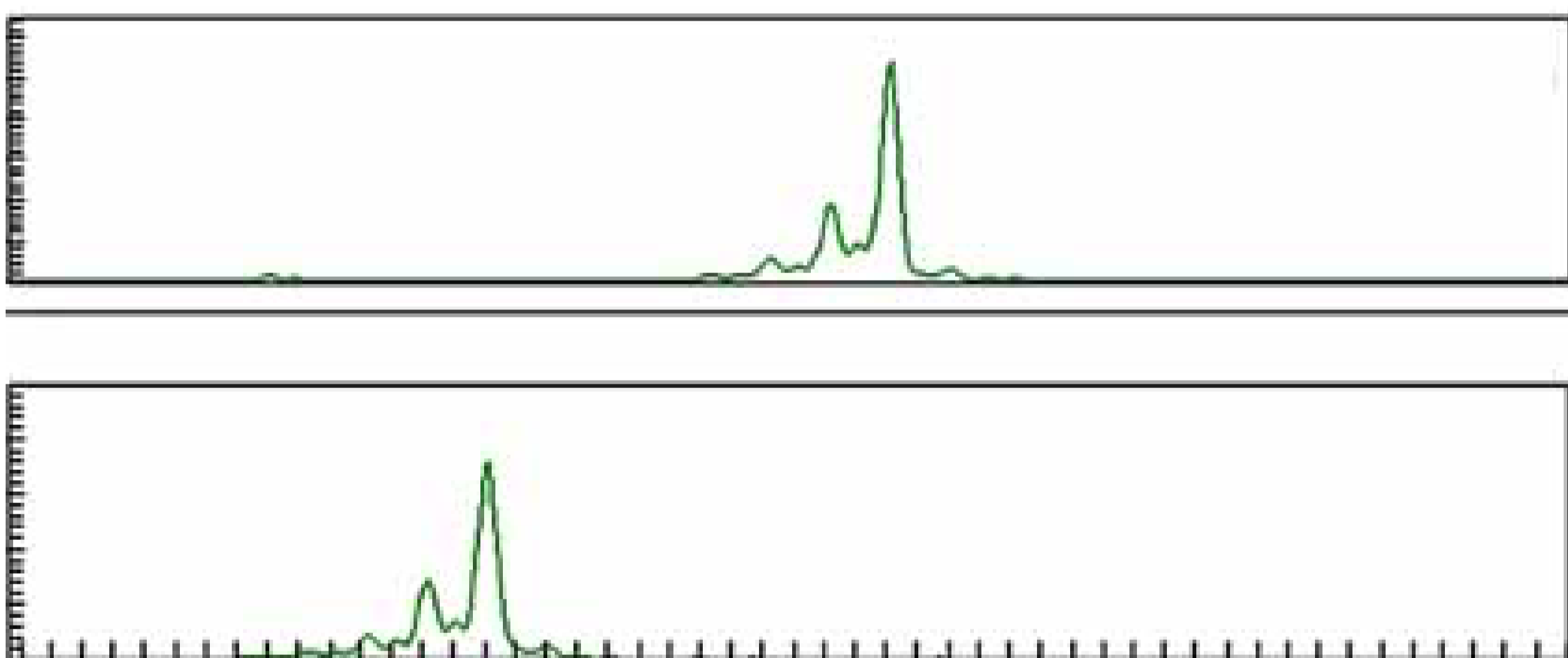
宇治茶品種と在来系統の類縁関係

「緑茶発祥の地」京都には、古くから在来の茶園があり、特徴的な宇治茶品種が生まれ出されました。ここでは、宇治茶品種と府内在来茶園にある茶の類縁関係をDNAレベルで分析しました。

府内品種・府内在来系統、農水省や他県品種、府外在来系統、紅茶・烏龍茶系品種から76系統を採取して、DNAを分析しました。

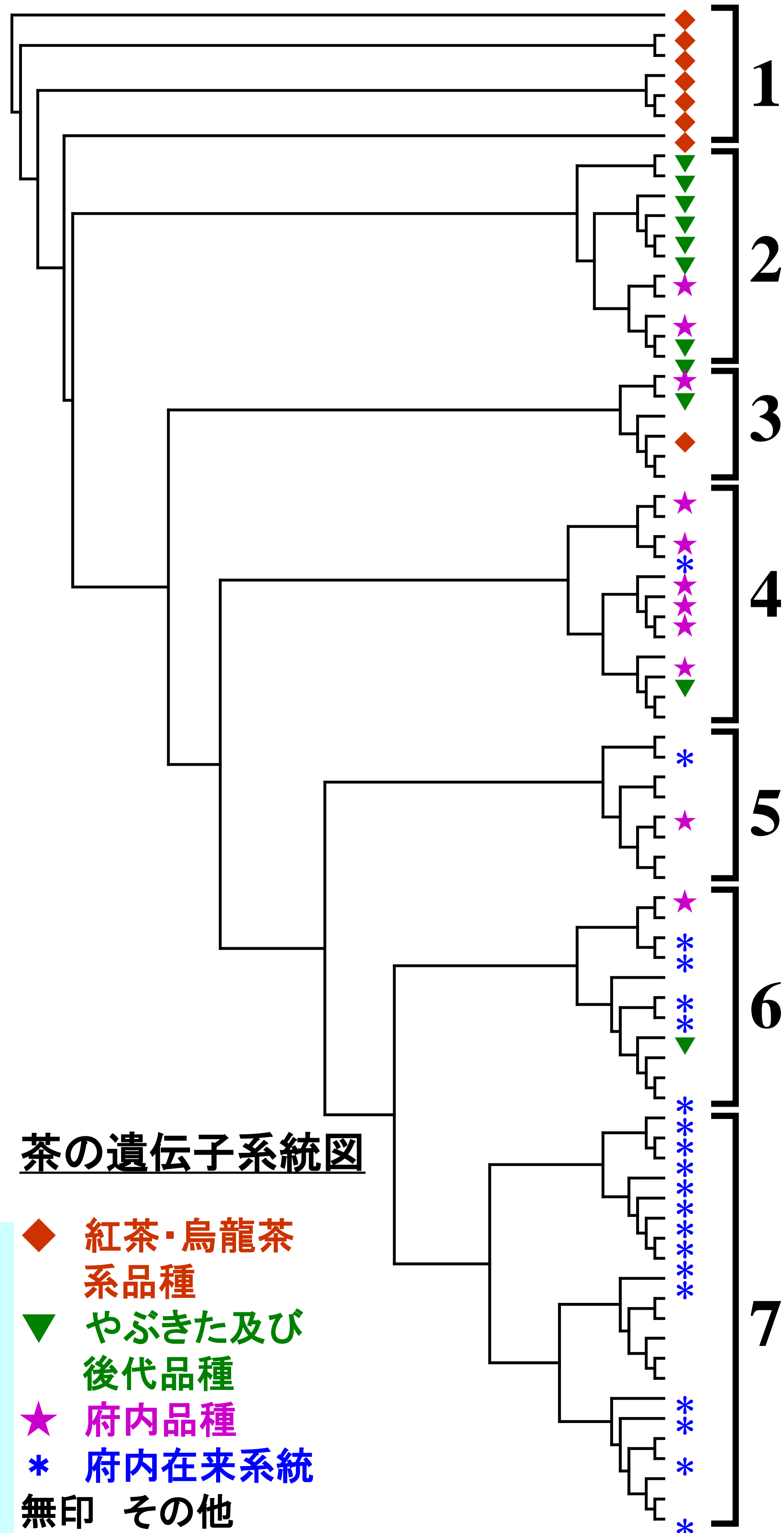


DNAを分析



反復配列（品種間で差が生じやすい部位）におけるDNAのサイズを比較

分析の結果、調査した茶は7グループに大別可能でした。府内の茶（★印と＊印）は、半数以上が特定のグループ（4, 6, 7）に固まる傾向が見られました。



茶の遺伝子系統図

- ◆ 紅茶・烏龍茶系品種
- ▼ やぶきた及び後代品種
- ★ 府内品種
- * 府内在来系統
- 無印 その他

本分析から「京都府内の品種・在来系統は、一般的な緑茶品種と遺伝的に異なる独自性を持つ」ということが示唆されました。今後、解析系数を増やし、類縁関係を確認します。